

日高山脈襟裳十勝国立公園指定記念

第1回『日高山脈のある生活』フォトコンテスト審査結果

＝特 選＝



『日高山脈のある生活』フォトコンテスト実行委員会会長賞

撮影場所：新ひだか町静内 撮影者：野田 功 様(新ひだか町)

講評：コンテストの大きなテーマである『日高山脈のある生活』にぴったりの作品です。遠くに白く輝く日高山脈、日高の主産業である「馬」を被写体にした作者のセンスを褒めたい。斜めに伸びる路が構図の完成度を上げています。審査員の過半数から支持されたのも納得できる作品です。

＝優秀賞＝



『日高山脈のある生活』フォトコンテスト審査委員長賞

撮影場所：様似町 撮影者：加藤 みゆき 様(様似町)

講評：画面いっぱいに溢れる山桜が美しく、青く堂々としたアポイ岳が個性ある作品にしています。トンネルが生活感を表し、良いポイントとなっています。



『日高山脈のある生活』フォトコンテスト審査委員長賞

撮影場所：新ひだか町三石 撮影者：畑端 憲行 様(新ひだか町)

講評：遠くに日高山脈、中間に放牧される馬、近くに白い野鳥と珍しい構図になっています。まだら模様の雪景色が季節感を良く表しています。

＝入 選＝



日高町商工会 会長賞

撮影場所：新ひだか町三石 撮影者：野田 功 様(新ひだか町)

講評：シャッターチャンスが命の作品です。望遠レンズの圧縮効果もあり、飛ぶ鳥の姿も迫力ある作品になりました。この場に居合わせた作者を褒めたい。



平取町商工会 会長賞

撮影場所：新ひだか町三石 撮影者：木村 実 様(新ひだか町)

講評：牧場に広がるまだらな雪が奥行き感を表現しています。白い山並の日高山脈と黒い馬の対比がこの作品の良いポイントとなっています。



新冠町商工会 会長賞

撮影場所：新ひだか町三石 撮影者：高橋 美代子 様(新冠町)

講評：すっかり雪も消えて、春が待ち遠しい日高の牧場。しかし、遠くに望む日高山脈はまだ雪景色、日高に住む人たちが一番感じる季節感を良く表現しています。



新ひだか町商工会 会長賞

撮影場所：新ひだか町三石 撮影者：畑端 憲行 様(新ひだか町)

講評：新ひだか町三石(旧三石町)のシンボルである『蓬莱山』をテーマに、青い日高山脈のブルーが美しい。朝霧に煙る時間帯に撮影された撮影者の努力とセンスを認めたい。



浦河商工会議所 会頭賞

撮影場所：浦河町 撮影者：原 聡彦 様(札幌市)

講評：構図の完成度の高さに作者の才能を感じます。雪景色の白、空と翠明橋のブルー、ポイントとして大型車の黄色、そして白い山並に目が惹かれます。



様似町商工会 会長賞

撮影場所：様似町 撮影者：加藤 みゆき 様(様似町)

講評：地元を知り尽くした撮影者ならではのシャッターチャンス。山頂に雪が被る一番美しいアポイ岳の山並みを撮影されています。



えりも町商工会 会長賞

撮影場所：様似町 撮影者：外崎 茂子 様(新ひだか町)

講評：様似町から望める日高山脈、日々の生活の中に溶け込んでいる生活感溢れる傑作です。“黄金構図”で中心に伸びる道路に引き込まれました。

……………【審査委員長総評】……………

『日高山脈のある生活』フォトコンテスト

審査委員長 田嶋 英夫

(第68回北海道写真道展審査委員長)



『日高山脈のある生活』フォトコンテストの応募作品97枚を対象とした審査委員会を、令和7年7月10日(木)に新ひだか町商工会において開催し、12名の審査委員により厳正な審査を行い、最終的に10枚の入選作品を選考し、更に特選1枚、優秀賞2枚、入選7枚の各賞を決定しました。

審査の方法として、『日高山脈のある生活』というテーマである「日高山脈」と「人々」との関わりを審査委員一同の共通認識として選考しました。ただ、素敵な作品がとても多く、非常に難しい審査となりましたが、結果として、特選の作品は過半数の審査員からの支持を受けての決定となり、その瞬間、審査会場では自然と拍手が沸き上がりました。

以下、入賞作品についても、審査委員長の私から作品一点ごとの特徴を説明させてもらい、審査委員全員の総意で決定させてもらいました。

この『日高山脈のある生活』フォトコンテストは今回の第1回に引き続き、第2回も今年の9月から計画されていますので、今回の入賞作品を参考にした上で、更に新たな視点で撮影された作品の応募を心から期待しております。